

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年8月16日(2007.8.16)

【公開番号】特開2005-200638(P2005-200638A)

【公開日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-029

【出願番号】特願2004-358624(P2004-358624)

【国際特許分類】

C O 8 F 30/06 (2006.01)

C O 9 K 11/06 (2006.01)

H O 1 L 51/50 (2006.01)

C O 7 F 5/02 (2006.01)

【F I】

C O 8 F 30/06

C O 9 K 11/06 6 8 0

H O 5 B 33/14 B

C O 7 F 5/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月3日(2007.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

式(2)における $R^1 \sim R^{15}$ としては、水素原子、ハロゲン原子、シアノ基、アミノ基、炭素数1～12の炭化水素アルキル基、または炭素数1～12のアルコキシ基、アリールオキシ基、芳香族基、ヘテロ環基を挙げることができる。 $R^1 \sim R^{15}$ に用いられるハロゲン原子としては、フッ素、塩素、臭素、およびヨウ素を挙げることができる。 $R^1 \sim R^{15}$ に用いられる炭素数1～12の炭化水素アルキル基としては、メチル基、エチル基、プロピル基、イソプロピル基、ブチル基、イソブチル基、*t*-ブチル基、アミル基、ヘキシル基、オクチル基、デシル基、ドデシル基等を挙げることができる。 $R^1 \sim R^{15}$ に用いられる炭素数1～12のアルコキシ基としては、メトキシ基、エトキシ基、プロポキシ基、イソプロポキシ基、イソブトキシ基、*t*-ブトキシ基、ヘキシルオキシ基、オクチルオキシ基、デシルオキシ基、ドデシルオキシ基等を挙げることができる。 $R^1 \sim R^{15}$ に用いられるアリールオキシ基としては、フェノキシ基、4-メチルフェノキシ基、ナフチルオキシ基、アンスラニルオキシ基等を挙げることができる。 $R^1 \sim R^{15}$ に用いられる芳香族としては、フェニル基、ビフェニル基、テルフェニル基、トリル基、キシリル基、メシチル基、ナフチル基、アンスリル基、フェナンスリル基などを挙げることができる。 $R^1 \sim R^{15}$ に用いられるヘテロ環基としては、ピリジル基、ピロール基、フラニル基、チオフェン基、ピラゾール基、イミダゾール基、トリアゾール基、テトラゾール基、オキサゾール基、オキサジアゾール基、チアゾール基、チアジアゾール基、インドール基、カルバゾール基、ベンゾフラニル基、ベンゾチオフェン基、ベンゾイミダゾール基、ベンゾトリアゾール基、ベンゾオキサゾール基、ベンゾチアゾール基、ベンゾジチアゾール基、フリル基などを挙げることができる。また、 $R^1 \sim R^{15}$ のうち、同一のフェニル基上に隣接して付いているものは結合して縮合環を形成してもよい。